

講義名称	アカデミック・リーディングⅡ	担当教員名	小林 俊哉
科目群	英語 (ENG) ・アカデミックブリッジコース必修		
科目区分等	進学と留学	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	ENG153

授業のキーワード	英語読解、速読、パラグラフリーディング、論理的思考
授業の概要	アカデミックリーディングⅠに引き続き、論理的思考に必要な英語読解能力の養成、強化を目指します。賛否が明確に分かれる英文論考を読み、それぞれの立場を理解しながら英語力を高めます。
期待される学習成果 (目標)	1. 論理的な構成を持つ英文の読解ができるようになります。 2. 賛否両論を多読することにより、文意の把握能力を養成できます。 3. 熟読、速読の双方で英語読解能力を高めることが可能です。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	導入	賛否両論を英語で読み、みずからの立場を構築することについてお話しします。
2	動物園の動物たち	動物園の存在には意味があるのか、もっと他に有益なお金の使い道があるのか考えます。
3	防犯カメラ	町でよく見かける監視カメラ。安全には必要か、あるいはプライバシー優先かを考えます。
4	接客	丁寧な接客は日本の宝？あるいは単なる迷惑？二本の論考を読みます。
5	デジタル文書	マニュアルや教科書などのデジタル化は便利なのか、そこには落とし穴が潜むのかを考えます。
6	第1回確認試験	ここまで学んだ事項を確認するための試験を実施します。
7	女性活用社会	女性活用が叫ばれる昨今。それは可能性の宝庫なのか、あまり現実的ではないのか考えます。
8	「過激」スポーツ	ハング・グライダーやフリー・クライミングは推奨されるべきか、過激すぎるのか考えます。
9	カジノとギャンブル	ギャンブルは個人の自由？あるいは個人の自由に委ねるにはあまりに危険なのかを考えます。
10	婚活	結婚相手の選択はあくまで個人の問題か、あるいは日本の少子化を考えると必要なのかを考えます。
11	第2回確認試験	ここまで学んだ事項を確認するための試験を実施します。
12	宇宙開発	宇宙進出は人類に必要なか、単なる無駄使いなのかを考えます。
13	世界遺産	世界遺産は保護されるべきか、あるいは単なる過去の無意味な遺物なのかを考えます。
14	自動車の自動運転	自動車の自動運転は人類に必要な未来の先進技術か、あまりに危険なのかを考えます。
15	裁判員制度	裁判員制度は意義ある制度か、「素人」判断は誤りのもとなのかを考えます。

定期試験	学期を通して学んだ事項を総合的に確認するための試験を実施します。
授業時間外学習	1～5週→論理的な文章の流れを確認し指定範囲の予習・復習をする。6～10週→指定範囲の予習・復習。文章の論理的構造に慣れる。確認試験準備をする。11～15週→指定範囲の予習・復習。期末試験準備をする。
評価方法	確認試験各30% (計60%)、期末試験40%
使用する教科書 (必ず購入してください)	Mark Jewel 『白熱討論：どちらに賛成？』 (朝日出版社)
参考文献	